



③軍用地から公園へ1 (富津公園・富津市)

ふつつこうえん

富津市の富津岬周辺には、**明治時代から軍用地**がありました。第二次世界大戦後は県が跡地を利用し、「**富津公園**」を昭和35年に開設しました。

また、富津公園は、昭和42年に国によって明治100年を記念した「明治百年記念公園事業」全国10箇所の一つに指定され、五葉松の形をした記念塔（明治百年記念展望塔）が建設されました。（写真5）



写真5 明治百年記念展望塔 昭和50年頃撮影

④軍用地から公園へ2 (行田公園・船橋市)

ぎょうだこうえん

大正4年（1915年）に船橋市に設置された**船橋海軍無線電信所**は、戦後接收した米軍から昭和41年に返還されました。その後、県が跡地を利用して「**行田公園**」を昭和52年に開設しました。（写真6・7）



昔

写真6 船橋無線電信局(現在の行田公園) 昭和4年～昭和16年頃撮影



今

写真7 行田公園 現在
※緑で囲われた区域が行田公園

⑤徳川家の庭園から公園へ(戸定が丘歴史公園・松戸市)

とじょうがおかれきしこうえん

国の**重要文化財**である「**戸定邸**」は、元水戸藩主徳川昭武（あきたけ）が明治17年（1884年）に松戸市の戸定が丘に建てた私邸で、昭和26年に松戸市に寄贈後、公民館等として活用されてきました。その後、創建当時に復原され、平成3年に「**戸定が丘歴史公園**」として開設されました。（写真8・9）

昔



写真8 戸定邸表座敷 明治22年撮影

今



写真9 戸定邸表座敷 現在

⑥畜産試験場から公園へ(青葉の森公園・千葉市)

あおばのもりこうえん

明治時代の千葉市青葉町周辺は**種畜場**でしたが、大正時代には農林水産省畜産試験場となりました。その後、試験場がつかば市に移転したことから県が跡地を利用し、「**青葉の森公園**」を昭和61年に開設しました。（写真10・11）

昔



写真10 種畜場(現在の青葉の森公園付近) 明治38年～大正3年頃撮影

今



写真11 青葉の森公園おはなみ広場 現在

千葉県内の都市公園（現代）

明治初期の太政官布達における公園では「**遊観（ゆうかん、遊び歩いて見物すること）**」を公園の機能としていましたが、時代の変遷によって多様な機能が追加されていき、**現在**では緑とオープンスペースの効用として、**4つの機能**に大別されています。

- (1) **（環境保全）** 人と自然が共生する都市環境の形成
- (2) **（景観形成）** 生物の多様性を育み、四季の変化が織りなす美しい潤いのある景観の形成
- (3) **（防災）** 災害防止、災害時の避難地等の拠点としての機能により都市の防災性、安全性の確保の寄与
- (4) **（レクリエーション）** 都市住民の教養・文化活動等の余暇活動や健康増進活動を支える場の提供

平成29年3月末現在、供用済みの千葉県内の都市公園は、約7,000箇所、面積約4,100haに及んでおり、県民の憩いの場として親しまれ、都市で生活をしていく上で、極めて重要な社会資本の一つとなっています。